

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 こどもの現代アート

保護者等数(児童数) 3人 回収数 2人 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100%					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%				終わりの時間が少し分かりにくい。時計を読めない子どもでも終わる目安(タイムタイマーなど)が分かるようにすると何度も声掛けせずに終わるのではないかと思う。	時間の件はご意見を参考に個別にタイマーを使用するなど気持ちよく制作できるよう工夫を行う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%				いつ行っても部屋がきれい。とても過ごしやすい空間だと感じる。	ありがとうございます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	50%			50%		フィードバックの時間に家族・お子様との相談の時間を設けるよう努める。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	50%			50%	言葉がけがとても丁寧で子どもの発想を上手く取り入れながら支援されている。	ありがとうございます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	50%			50%		今後もお子様が様々な事に楽しんで触れられるよう工夫を行います。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			100%			支援内容の特性上、一人で行うプログラムに偏るため、交流の機会が少ない。今後の検討材料とする。
適切な	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	50%		50%			今後前向きに検討する。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	50%		50%			フィードバックの時間に家族からの相談の時間を設けるよう努める。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
支援 の 提 供	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			100%			受給者と告知していない利用者もいるためプライバシーの観点から積極的には行っていない。一同に集まらなくても交流できる方法等、今後の検討材料とする。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	50%	50%				保護者の待合室にて苦情相談対応マニュアルを掲示していることを案内していく。相談があった際には迅速に対応を行う。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	50%	50%				フィードバックの時間に家族との意思・情報伝達の時間を設けるよう努める。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%					
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%					
非常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	50%		50%			保護者の待合室にファイルにて掲示をしている旨を明確に説明していく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている				100%		避難訓練については保護者と利用児童の参加方法を検討していく。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%				「現代アートの日はいっつ?」など次は何を作ろうか、先生は誰か、ととても楽しみにしている。現代アートで学んだことを家でも生かし、楽しんでいる。いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。	こちらこそいつもありがとうございます。引き続き通所を楽しみにして頂けるように寄り添った支援を心掛けていきます。
	23	事業所の支援に満足している	100%					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。